

## 令和6年12月5日県土整備常任委員会

◆宇野裕 委員 それでは、質問、要望を含めて4点お伺いさせていただきたいと思います。

まず最初に、これまで常任委員会で取り上げている新湾岸道路について御質問させていただきます。先ほどの部長の御挨拶の中にもあったことでございますので、改めて質問させていただきたいと思います。

本会議において、我が党の鷲見議員からの質問に対し、12月からパネル展及びオープンハウスを開催するとの答弁があり、具体化に向け検討が進み出しました。私も千葉日報を拝見し、いよいよ始まったなというような感じを持っているところでございます。この千葉県湾岸地域の交通渋滞の解消は喫緊の課題であり、早期の整備が大変重要であることから、地域とのコミュニケーション活動を丁寧に行い、速やかに計画の具体化が図られるよう、質問と申し上げましたけども、御要望させていただきたいと思います。

次に、東京湾アクアラインについてお伺いをさせていただきたいと思います。土日・祝日に実施している社会実験の新たな内容として、令和7年4月からは上り線の通行料金が800円から400円、1,600円に変動するなど、これまで以上に料金幅を広げ、下り線でも新たに実施することなどなどについて一昨日検討会が開催され、昨日には国や県から正式に発表され、新聞やテレビなどで大きく報道されております。この社会実験は令和5年7月から上り線で開始され1年4か月が経過しておりますが、交通分散の効果は徐々に減少しているとのことであります。

今回の見直しによりましてアクアラインの効果もさらに発揮され、混雑が緩和することを私も期待しているところであります。そこでお伺いをさせていただきたいと思います。今回の見直しの狙いやその効果は何か。よろしくお願ひいたします。

◎説明者（横田道路計画課長） 道路計画課、横田でございます。

まず、この社会実験の効果と狙いということでございます。土日・祝日の特定の時間帯に集中する交通を、アクアラインの利用者の行動変容を促すということがまずこの社会実験の目的でございます。今回の見直しにより、通行料金の最低額を半額の400円ということ、また最大額は2倍の1,600円ということで、これまで以上に交通が分散されて、所要時間の短縮などの効果が期待されているところでございます。引き続きアクアラインの効果が最も発揮できるよう取り組んでいきたいとい

うふうに思ってございます。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 来年の4月以降、木更津市内の渋滞緩和がこれによって図られることを大いに期待をしているところございます。頑張っていただきたいと思います。

次に、地元の問題について2点お伺いさせていただきたいと思います。

飯岡片貝線、匝瑳市長谷地区のバイパス整備についてお伺いをさせていただきたいと思います。県道飯岡片貝線は、国道126号と九十九里海岸に並行して走り、旭市方面と横芝光町方面を結ぶ地域にとって大変重要な道路であります。しかしながら、匝瑳市長谷地先周辺の現道は屈曲し、家屋密集地を通過するため、見通しが狭く、歩道も整備されていないことから、歩行者の安全確保が課題となっております。現在、この区間を迂回するバイパス整備が県により進められております。現地では一部道路改良工事が行われ、少しずつではありますが形が見えてきていることから、地元では早期完成を待ち望んでいるところであります。

そこで、県道飯岡片貝線長谷バイパスの進捗状況をお伺いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

◎説明者（齊藤道路整備課長） 道路整備課でございます。

県道の飯岡片貝線につきましては、匝瑳市の吉崎地先から野手地先までの1.8キロメートル区間におきましてバイパスの整備を行っているところでございます。これまでの用地の取得率は約5割となっておりまして、まとまった用地が確保できた箇所におきまして、約0.4キロメートル区間の道路改良工事が完成しているところでございます。現在、終点部の長谷地区におきまして引き続き用地の取得を進めているとともに、今年度は架け替えが必要となります軽桶川に架かる吉長橋の護岸設計を実施することとしております。

今後とも、地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、地元市とも連携いたしまして事業のほうを推進してまいりたいと思ってございます。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。常々、道路整備事業の推進には用地取得が一番肝腎なことだと思っております。引き続き用地取得を円滑に進めていくためにも、地権者の方々には丁寧な対応をしていただくとともに、まとまった用地が確保できた箇所においては改良工事を進め、早期整備を図るよう強く要望したいと思います。

最後に、私の地元の平木という地域があるんですが、平木の歩道整備についてお

伺いをさせていただきたいと思います。私の地元においても、通学路に歩道がない区間があることや、歩道が狭いことについて大変私自身も心配をしておりまし、地域住民も大変心配しているところであります。特に、県道八日市場井戸野旭線については、匝瑳市立平和小学校の通学路に指定されているものの、歩道が狭いことから児童が大変危険な状況であります。

令和3年12月の常任委員会で平和小学校付近の歩道整備の状況をお伺いしたところ、小学校から東側380メートル区間、1工区の歩道整備が完成し、その先の2工区について用地買収に向けた説明会を開催していました。前回質問してから3年間が経過しており、現在の2工区の進捗状況が大変気になっているところであります。

そこでお伺いをいたします。県道八日市場井戸野旭線の匝瑳市平木地先における歩道整備の進捗状況はどのようにになっているのか、よろしくお願ひします。

◎説明者（花岡道路環境課長） 道路環境課長の花岡でございます。

1工区に続きます2工区でございますが、市道の9046号から市道125号までの約370メートルの区間におきまして、今年度、地元の皆様に御協力いただきまして、整備に必要な用地を全て確保できしたことから、年内の完成に向けて、10月から2工区全線の歩道整備工事に鋭意取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。よろしくお願ひをいたします。

さらに質問させていただきたいのですが、今、2工区についてはもう見えてきたというような感じを持ちました。引き続き、その先の旭市の境界まで、旭市までの、市の境界まで区間について、いよいよ3工区になるわけですが、歩道整備の今後の見通しについてお伺いをさせていただきたいと思います。

◎説明者（花岡道路環境課長） 2工区に続く旭市との境、3工区につきましては、先月の11月26日に歩道整備事業に関する説明会を開催いたしまして、地元の皆様に事業概要、整備計画、それから事業の進め方を説明いたしまして、併せて境界立会いに関する御協力のお願いもしたところでございます。引き続き、地元の皆様へ丁寧な説明を行いまして、御理解と御協力をいただきながら、早期に用地取得が行えるよう取り組んでまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 本当にありがとうございます。引き続き早期の平木地区歩道整備が完成に向かって前進していくよう、執行部の皆様方の大きなお力添えをいただきたいとお願いを申し上げまして、質問を終わります。

以上です。